

What is **エス ディー ジー ズ** SDGs?

最近よく「SDGs(持続可能な開発目標)」という言葉を知ったり、ポスターを見たりしませんか?でも、SDGsといわれても、壮大すぎて自分には関係ないなあと思いがち。今月はそんな皆さまにSDGsを身近に感じて、簡単に取り組めることを紹介します。

今からはじめる未来づくり

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こんな取り組みも SDGs!

「持続可能な開発目標」や「17のゴール・169のターゲット」といわれても自分には何ができるのか……、と感じてしまいがちですが、実は日々の生活の中にも簡単にできることがたくさんあります。ぜひ簡単なことから始めてみましょう。

家の中で SDGs!

- ◆電気をこまめに消す
- ◆食品の廃棄を減らす
- ◆不用品はリサイクル
- ◆ペットボトルはキャップとラベルをはずして捨てる



家の外で SDGs!

- ◆マイバッグ・マイボトルを持ち歩く
- ◆地元で買い物をする
- ◆詰替え可能な商品を買う



移動するときに SDGs!

- ◆徒歩や自転車、公共交通機関を使う
- ◆マイカーは大人数の時に使用



こんなところにSDGs!

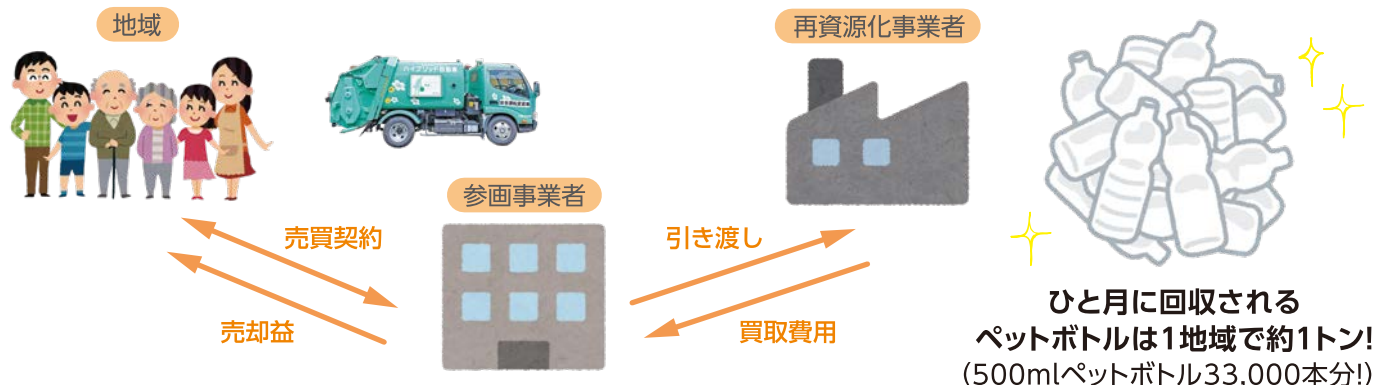
淀川区でも行われているSDGsの取り組みをご紹介します。

東北環境事業センター みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト

大阪市が「資源ごみ」として行政回収しているペットボトルを、地域コミュニティと参画事業者が連携協働して「有価物」（経済的に価値があるもの）として回収するシステムです。令和元年10月から始まったこのプロジェクトでは、地域住民が分別を徹底したペットボトルを、参画事

業者がリサイクル業者に売却するため、その利益を地域に還元できます。さらに、回収したペットボトルは再びペットボトルにリサイクルされるため、完全な資源循環を促進します。淀川区では、三国・東三国・三津屋の3地域が取り組んでいます。

12 つくる責任
つかう責任

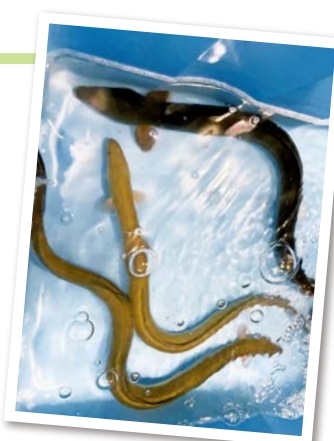


大阪市漁業協同組合 「淀川を考える」取組み

大阪市漁業協同組合では、淀川での体験学習や学校での漁業に関する出前授業など、淀川環境について知ってもらう活動をしています。6月末には淀川の干潟で、中高生に「石干見」を体験してもらうイベントが行われました。石干見とは、干潟に石を半円形に組み、潮の満ち引きによってその中に取り残された魚を取るという、大昔からある伝統的な漁法です。



海が豊かになるには
まず川から!
川が豊かになるには
まず知ることから!



淀川ではウナギも
取れます。大きいものでは
1キロになることも!

14 海の豊かさを
守ろう



取材にご協力いただいた大阪市漁協さんからプレゼントがあります! 詳しくは18面へ ▶▶

区役所も食品回収拠点になります!

ご家庭で余った食品を回収して、子ども食堂や支援を必要とする方々に食品を提供する「フードドライブ」。10月より淀川区役所も食品回収拠点として食品の受付を開始します。

缶詰1個、お菓子1袋からでもお気軽にお持ち込みください。

開催日 毎月第1金曜日10:00~15:30

場所 区役所1階区民ギャラリー内

詳しくは ▶▶▶



ごみ相談窓口
同時開設!!

第1回目の受付を10月1日(金)に開催します

回収できる食品

- 常温保存が可能なもの
(お米、お菓子、乾麺、インスタント食品、缶詰、調味料など)
- 包装や外装が破損していないもの
- 持ち込む時点で賞味期限まで1か月以上あるもの

回収できない食品

- 賞味期限不明の食品、アルコール類、生鮮食品(肉、魚、野菜など)

問合せ 東北環境事業センター ☎6323-3511